

小平市民活動支援センターあすぴあ

2024 年度 事業報告

2025 年5月

指定管理者

特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク

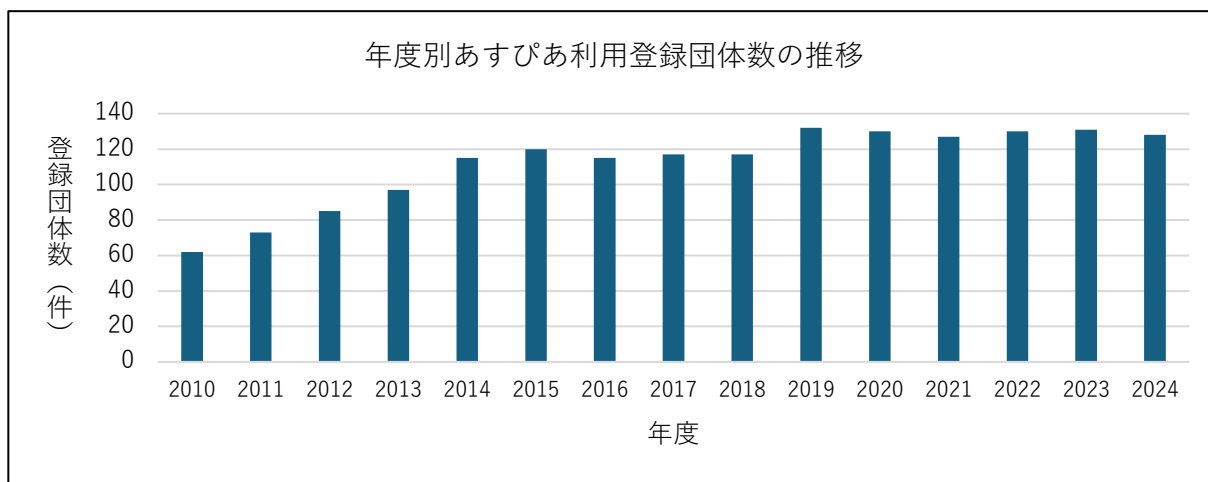
目次

1. あすぴあ利用状況	1
(1) 利用登録の実績	1
(2) 施設利用の実績	1
2. 市民活動に関する学習および交流	3
(1) 市民活動に関する学習会	3
(2) 市民活動交流サロン	4
(3) 元気村まつり	6
(4) こだいら人財の森	7
(5) 他組織との情報交換	9
3. 市民活動に関する情報の収集および提供	10
(1) あすぴあ通信	10
(2) インターネットによる情報発信	11
(3) 市民活動団体データの収集と発信	12
4. 市民活動に関する相談	13
5. 利用者の要望・意見の把握	14
6. 研修の実施、受け入れ	15
7. 事業の実施体制	16
8. 経費の収支状況	18
資料1. あすぴあ登録団体一覧	19
資料2. あすぴあ利用者アンケート調査結果	22

1. あすぴあ利用状況

(1) 利用登録の実績

あすぴあ利用登録団体数は 2025 年 3 月末時点で 128 団体である。登録団体一覧は資料 1 参照。
年度別の利用登録団体数の推移を下图に示す。



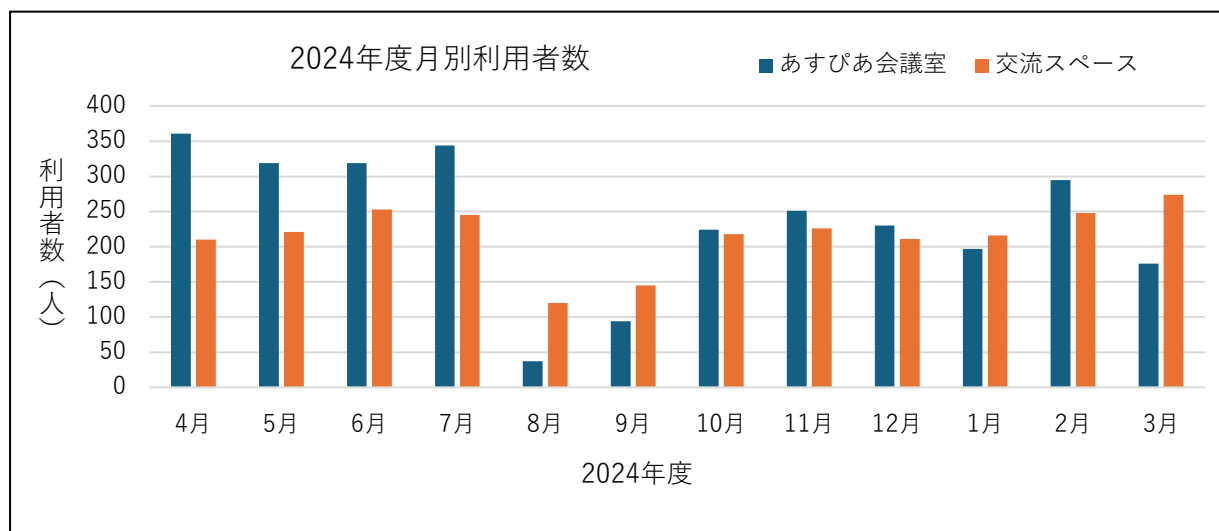
2024 年度の新規登録団体は以下の通りである。

- ・こだいらソーラー
- ・小平市の多文化共生をすすめる会
- ・小川シン・公共施設&プロジェクト
- ・imacoco
- ・ぐろーばる喫茶 KODAIRA
- ・ギターサークル アン
- ・上宿盆踊り部

(2) 施設利用の実績

① 会議室および交流スペースの利用

2024 年度のあすぴあ会議室の利用者数は 2,847 人、交流スペースの利用者数は 2,587 人である。
月別の利用者数を下图に示す。7 月 24 日に雷雨の発生により、あすぴあ会議室と交流スペースのエアコンが故障し、年度中は使用できなかったことから、その後の利用人数が大きく減少している。



② 機材の利用

有料で利用する印刷機、複写機、プリンタ、ラミネータの使用料実績を下表に示す。

機材	2024 年度使用料	単価
印刷機	63,180 円	製版 50 円/枚、印刷代 20 円/100 枚、用紙は持ち込み
複写機	10,530 円	白黒 10 円/枚、カラー30 円/枚（A4、A3 共）
プリンタ	2,730 円	白黒 10 円/枚（A4）
ラミネータ	1,635 円	15 円/枚（A4）、30 円/枚（A3）
合計	78,075 円	

印刷機 : 4 色（黒・赤・青・緑）の印刷ができる。

複写機 : 事務所のコピー機で A3 やカラーの印刷ができる。

プリンタ : 貸出パソコンのプリンタで印刷ができる。

ラミネータ : ポスターなどをフィルムで丈夫に加工できる。



印刷機



複写機



ラミネータ



貸出パソコン

上記以外の主な貸出機材を下図に示す。



紙折り機



プロジェクタ



スクリーン



大型モニター



音響機材



ミーティングオウル



映像機材

2. 市民活動に関する学習および交流

(1) 市民活動に関する学習会

① 市民活動パワーアップ講座

	講座名	開催時期	日程	受講者数
第1回	Canva でサクッと センスあるチラシ作り	2024 年 7 月	2 日間	16 名
第2回	コラボを楽しむローカルイベント学	2024 年 9 月	1 日間	8 名
第3回	クラウドでスッカリ！団体の書類整理	2025 年 2 月	3 日間	16 名
第4回	デジタルネイティブの子どもたちと向き合う 市民活動とは？	2025 年 3 月	1 日間	12 名

■Canva でサクッと センスあるチラシ作り

日時：2024 年 7 月 13 日(土)、20 日(土) 13:30～16:00 2 日間

場所：あすぴあ会議室

講師：南由紀子氏（WEB・グラフィックデザイナー）

市民活動のデジタル化の促進としてデザインツール

Canva を使って、チラシを作成した。参加者募集は市報に掲載した当日に満員となり市民の関心が高く、若い世代も集まった。講座では受講者が自分のパソコンでチラシ作品を製作して発表し、講師が講評を行った。



■コラボを楽しむローカルイベント学

日時：2024 年 9 月 7 日(土) 13:30～16:00

場所：小平東部市民センター

講師：萩元直樹氏（株式会社サステナブルタウン代表）

講義：つながりの4つの価値と地域協働の場づくり

コラボは自分の団体だけではできなくても他の団体と一緒にならでることがある。協働の考え方や方法、実践例を学び、同じ目標に向かって一緒に活動する楽しさがある。講師の分かりやすいコラボの話とグループワークで参加者の満足が得られた。



■クラウドでスッカリ！団体の書類整理

日時：2025 年 2 月 1 日(土) 13:30～16:00

2025 年 2 月 8 日(土) 13:30～16:00

2025 年 2 月 9 日(日) 13:30～16:00

場所：あすぴあ会議室

講師：橋本正光氏（ITサポートサークル小平）

団体が抱える多くの書類をクラウドに保管して、みんなで共有できるようにする。受講者はパソコンを持参して、Google ワークスペースへのログイン、Gmail や Google ドライブの使い方、書類の共同編集の仕方などを学んだ。



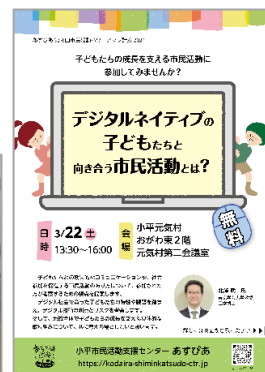
■デジタルネイティブの子どもたちと向き合う市民活動とは？

日時：2025年3月22日(土) 13:30～16:00

場所：元気村第二会議室

講師：北澤武氏（東京学芸大学大学院教授）

デジタル社会で育った子どもたちの特性や課題を踏まえ、デジタル技術の利点とリスクを考察する。そして、子どもたちとの効果的なコミュニケーションや社会参加を促進する市民活動のあり方を考える。講座では生成AIの実演があり、アンケートでは全員が面白かったと回答した。



② デジタル学習会

	講座名	開催時期	受講者数
第1回	AIの進化を体感！生成AI実践学習会	2024年9月23日(月・休)	17名
第2回	スマホとスマートウォッチで始める新しい健康習慣	2025年1月11日(土)	12名

■AIの進化を体感！生成AI実践学習会

日時：2024年9月23日(月・振替休日) 14:00～16:00

場所：中央公民館 講座室1

講師：長谷川正雄氏（システムエンジニア）

生成AIは機能や使い方が急速に進展しているが、自分のパソコンで実際に体験して、AI利用の向上を図る。参加者は実際に生成AIでできることを体感した。



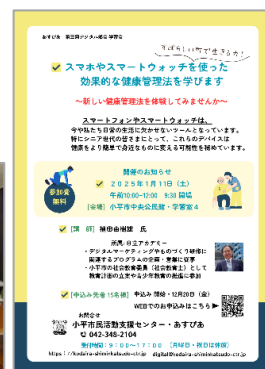
■スマホとスマートウォッチで始める新しい健康習慣

日時：2025年1月11日(土) 10:00～12:00

場所：中央公民館 学習室4

講師：植田由樹雄氏（日立アカデミー）

スマホは私たちの日常生活に欠かせないツールとなっているが、スマホによる健康管理アプリの使い方を実際に体験して、効果的な健康管理方法を学んだ。



(2) 市民活動交流サロン

	テーマ	開催日	参加者数
第1回	聞いてみたい！ワカモノが参加しやすい市民活動	2024年8月3日(土)	13名
第2回	コラボの扉を開く	2024年9月14日(土)	10名
第3回	聞いてみたい！市民活動の脱皮のしかた	2024年12月8日(日)	11名
第4回	デジタル・アナログ混在時代に生きる子どもたち	2025年1月25日(土)	13名

■聞いてみたい! ワカモノが参加しやすい市民活動

日 時：2024年8月3日(土) 13:30~16:00

場 所：小平美園地域センター 第一集会室

ゲスト：高橋功さん（精神保健福祉ボランティアの会ひだまり）

丹生恵理さん（白梅学園大学）

濱松若葉さん（津田塾大学）

多くの市民活動団体は若い世代に入ってきてほしいと願っている。既に学生や若い人たちが参加している団体はどんな受け入れ方をしているか、また、学生から見た地域活動の事例についてゲストから話を伺った。



■コラボの扉を開く

日 時：2024年9月14日(土) 13:30~16:00

場 所：小平東部市民センター 集会室

ゲスト：みんなでつくる音楽祭 in 小平実行委員

忘れなない 3.11 展実行委員

前週の9月7日(土)にパワーアップ講座「コラボを楽しむローカルイベント学」で萩元直樹氏が講義を行っている。交流サロンでは、ゲストから事例の話をして、萩元直樹氏がポイントを説明した。その後、グループに分かれてコラボのテーマを決めて、交流しながら考え、発表を行った。



■聞いてみたい! 市民活動の脱皮のしかた

日 時：2024年12月8日(日) 13:30~16:00

場 所：あすぴあ会議室

ゲスト：四ヶ所香代さん（精神保健福祉ボランティアの会ひだまり代表）

柴田康晴さん（一般社団法人ひだまりの会代表）

NPO 法ができてから 25 年以上、あすぴあが開館して 15 年の間に多くの団体が生まれてきた。一方で社会も変化し、個人の活動への関わり方や団体活動のあり方も変化している。そこで、団体が活動を進める中で直面する悩みや将来の展望についてゲストの話をして伺った。



■デジタル・アナログ混在時代に生きる子どもたち

日 時：2025年1月25日(土) 13:30~16:00

場 所：元気村 第一会議室

ゲスト：下村咲子さん（放課後子ども教室四小地区コーディネーター）

小田通精さん（ボーイスカウト）

とがぞのさん（小中高生を対象にコーディングクラブで活動）

現代の子どもたちはデジタルネイティブ世代といわれ、テクノロジーに慣れ親しんでいるが、大人たちはアナログ思考で子どもたちに接しがちです。大人の経験と知恵を活かし、子どもたちと楽しく活動するために日頃から子どもたちと一緒に活動しているゲストの話をして子どもたちへの接し方を考えた。



(3) 元気村まつり

元気村まつりは市民活動の見本市として 10 月 27 日（日）に元気村の会場で開催する予定でしたが、衆議院選挙により元気村は投票所のため会場開催ができなくなり、元気村まつりウィーク 2024 としてオンラインで開催した。

開催期間：2024 年 10 月 27 日（日）～11 月 3 日（日）8 日間

開催方法：オンラインの元気村まつりサイトで開催

実行委員：19 名（実行委員会 7 回、参加団体運営会議 1 回）

参加団体：46 団体（初参加 3 団体）団体募集 7 月 20 日～8 月 20 日

キャッチコピー：元気村 20 周年、未来へつなごう、地域の輪

広報：オンライン開催をチラシ、市報、あすぴあ公式 LINE で広報した。



■予告動画

元気村まつりの予告動画は実行委員によるリレーメッセージを撮影して、開催の 1 か月前に YouTube で配信した。

■元気村まつりサイト

オンラインの元気村まつりサイト <https://afesta.net> で、参加団体が自分でサイトにデータを入力して、下記の情報を紹介した。

- ・参加団体紹介：参加団体の活動内容の紹介
- ・団体動画一覧：団体の YouTube 動画一覧を掲載
- ・団体の検索：団体の活動分野や活動地域で検索
- ・団体会員募集：団体の会員募集の掲載
- ・イベント紹介：参加団体によるイベントの紹介

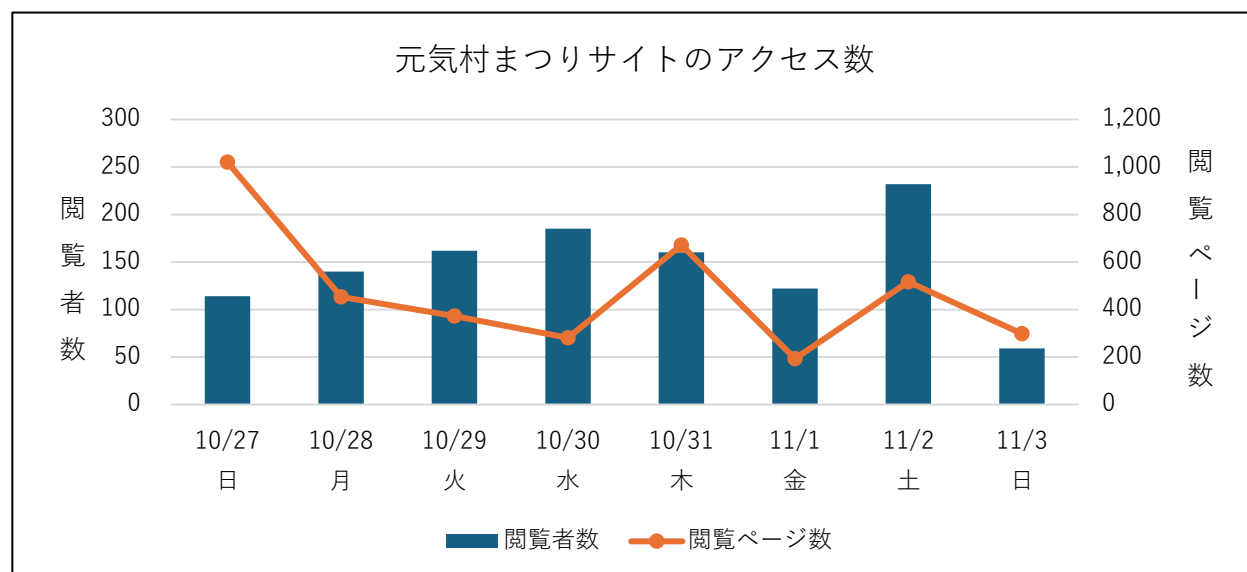


元気村まつりサイト

団体の様々な活動情報を見やすく検索できるようにした。

動画での活動紹介も 33 団体あった。

オンライン開催 8 日間のサイト閲覧者数は 1,174 人、閲覧ページ数は 3,805 ページでした。



■参加団体交流会

元気村まつりウィークの期間中に参加団体による交流会を実施した。

日時：10月31日（木）10:00～12:00

場所：小平元気村おがわ東 第二会議室

参加者：17名

元気村まつり参加団体のオンライン展示をプロジェクタで映しながら、各団体の活動を紹介し、参加者の投票により次の団体が受賞した。

ベスト展示賞：ウォーキング de ゴミひろい協会

特別賞：精神保健福祉ボランティアの会 ひだまり

元気村まつりは会場開催ができなくてとても残念でしたが、交流会では各団体の活動を紹介しながら交流を深め、みんなで懐かしい曲の合唱もあり和やかな雰囲気の中で楽しく過ごすことができた。



（４）こだいら人財の森

① 登録およびマッチングの実績

2024年度の登録とマッチングの実績は下表のとおりである。

区分	2024 年度	2019～2024 年度
個人登録	11 名	70 名
団体登録	5 団体	34 団体
マッチング成立	9 件	29 件

② 人財の森事業説明会・講演会

人財の森事業に対する市民の関心を喚起し登録へつなげるため、人財の森事業の説明会と落合恵子さんを招いた講演会を開催した。定員 350 人に対して 430 人の申込みがあり、当日は 310 人が参加した。

- ・ 日時：2025 年 3 月 8 日（土）13:30～16:10
- ・ 会場：ルネこだいら 中ホール
- ・ 内容：人財の森事業の概説
人財の森登録者と団体の鼎談
落合恵子さん講演会



講演会（ルネこだいら）



③ 市民と登録者交流会

市民と人財の森登録者の交流会を「市民活動 はじめの一步」として開催した。人財の森事業に対する市民の関心を喚起し登録へつなげること及び個人と団体の登録者を交えた交流の機会とした。当日は人財の森に興味を持った市民や団体、登録済みの個人と団体合わせて 18 人が参加した。

交流会の後、興味を持った市民 2 人、団体 1 団体が登録した。

日時：2025年2月2日（日）13:30～16:00

会場：東部市民センター

内容：人財の森事業の概説

人財の森個人、団体登録者の発表・報告

グループディスカッション



④ 広報活動

人財の森事業を市民へ広く宣伝するため、下表のイベントに出展して、人財の森の新しいリーフレットを作成して配布した。イラスト入りの風船は親子連れに好評でした。

開催日	イベント	会場
2024 年 9 月 26 日(木)～ 27 日(金)	小平市介護予防まつり	中央公民館ギャラリー
2024 年 10 月 12 日(土)～13(日)	小川西町公民館まつり	小川西町公民館
2024 年 10 月 27 日(日)～11 月 3 日(日)	元気村まつり	オンライン
2024 年 11 月 9 日(土)	小平市産業まつり	市役所立体駐車場
2024 年 11 月 16 日(土)～17 日(日)	津田公民館まつり	津田公民館
2025 年 2 月 14 日(金)～28 日(金)	出張広報アクション	市役所ロビー
2025 年 3 月 1日(土)～2 日(日)	こだいらオール公民館まつり	中央公民館



小川西町公民館まつり

(5) 他組織との情報交換

① 地域福祉活動及び市民活動の中間支援に関する情報交換会(A K V S)

2025 年 2 月 27 日(木)に AKVS の情報交換会を開催した。

(A: あすぴあ、K: 公民館、V: こだいらボランティアセンター、S: 市民協働)

AKVS の 4 者がそれぞれに開催するイベント（元気村まつり、サークルフェア、福祉バザー、小平市民まつり）を広報でつなげていく取り組み「広報のバトン」の実現について検討した。

② 8 市・市民活動情報連絡会

多摩地域にある下記 8 市の中間支援施設の運営者及び市役所の所管課により情報交換を行った。
小平市、西東京市、日野市、府中市、三鷹市、八王子市、調布市、町田市

- ・第 32 回の連絡会を 2024 年 7 月 24 日(水)に、
NPO 法人みたか市民協働ネットワークが主催し、
三鷹産業プラザで開催した。

8 市 50 人近くが出席して、2024 年度の重点事業について、8 市がそれぞれ発表した。

小平市は、こだいら NPO セミナーによる学生の体験活動、こだいら市民活動ナビの構築、Google ワークスペース導入について発表した。



- ・第 33 回の連絡会を 2025 年 2 月 27 日(木)に西東京市の「ゆめこらば」が主催して開催した。
会場は J:COM コール田無で、各市が 2024 年度の取り組みについて紹介した。

③ 東京ボランティア・市民活動センター主催会議

東京都内の中間支援組織の職員およびセンター長向けの会議へ出席した。

- ・2025 年 1 月 17 日(金)に区市町村ボランティア・市民活動推進団体事務局連絡会議に職員が出席した。「ボランティア・市民活動センターの講座を考える」について板橋区社協と昭島市社協の事例報告を踏まえ意見交換を行った。
- ・2025 年 2 月 20 日(木)に区市町村ボランティア・市民活動センター長会議に出席した。
2025 年度の取り組み（新規・重点・縮小）および人材育成について意見交換を行った。

④ 自治会等

下記の自治会関連の会合に出席し、主に防犯と防災について話し合った。

- ・自治会地域懇談会
2024 年 6 月 29 日(土) 上水本町地域センター
2024 年 7 月 20 日(土) 小川西町公民館
2024 年 12 月 21 日(土) 小川西町地域センター
2025 年 1 月 18 日(土) 中央公民館

- ・学園西町地区・学園東町地区地域連絡会

2025 年 1 月 30 日(木) 中央公民館

防災アドバイザー小野修平氏の「能登半島地震から学ぶ地域の防災」の講演後、防災について話し合った。



3 市民活動に関する情報の収集および提供

(1) あすぴあ通信

2024 年度は、あすぴあ通信 91 号から 94 号まで 4 回発行した。各回の発行数は 4,000 部である。

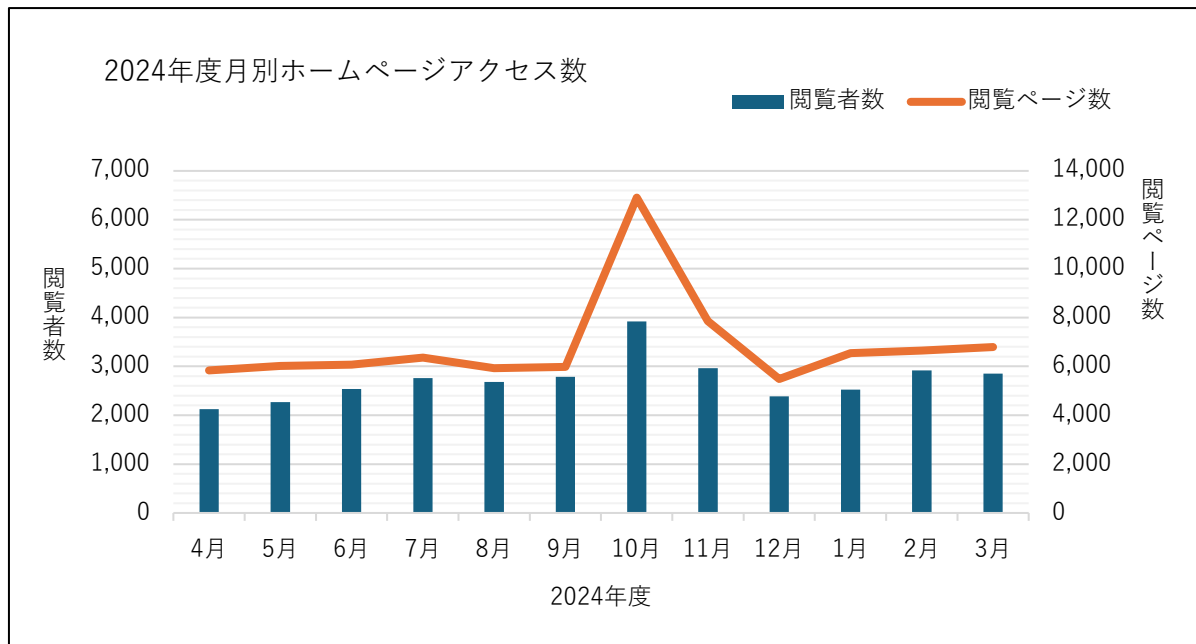
号数(発行月)	内容 (8 ページ構成)	表紙
91 号 2024 年 6 月	- 自分たちでつくる市民活動紹介サイトスタート！ - 市民参加で運営するあすぴあデジタル部会、イベント部会、フェスタ部会、広報部会 - 団体紹介 子ども未来研究所こあっぱあーと - 人財の森事業について - あすぴあ主催のイベント予告および実施報告	
92 号 2024 年 9 月	- 元気村まつりウィーク 2024 案内 - 団体紹介 小平東園域オレンジの会 NPO 法人 マルイス 精神保健福祉ボランティアの会～ひだまり～ - 図書紹介：ファシリテーションのすすめ - あすぴあ主催のイベント実施報告 - 小平市提示型公募事業&いきいき協働事業提案制度	
93 号 2024 年 12 月	- 元気村まつりウィーク 2024 オンライン開催報告 - 団体紹介 ぐろーばる喫茶 KODAIRA imacoco (イマココ) NPO 小平市の多文化共生をすすめる会 - 図書紹介：北多摩戦後クロニカル「東京郊外」の奇跡を探る - あすぴあ主催のイベント予告および実施報告	
94 号 2025 年 3 月	- 人財の森事業説明会、落合恵子さん講演会報告 - 団体紹介 ひまわりのおうち こだいらDV防止ネットワーク (通称：P ネット) 小平・環境の会 - あすぴあ利用者アンケートから - あすぴあ主催のイベント報告 - 市民ライター募集	

(2) インターネットによる情報発信

① あすぴあホームページの運営

元気村まつりサイトのアクセス数を含めたあすぴあホームページの月別アクセス数を示す。

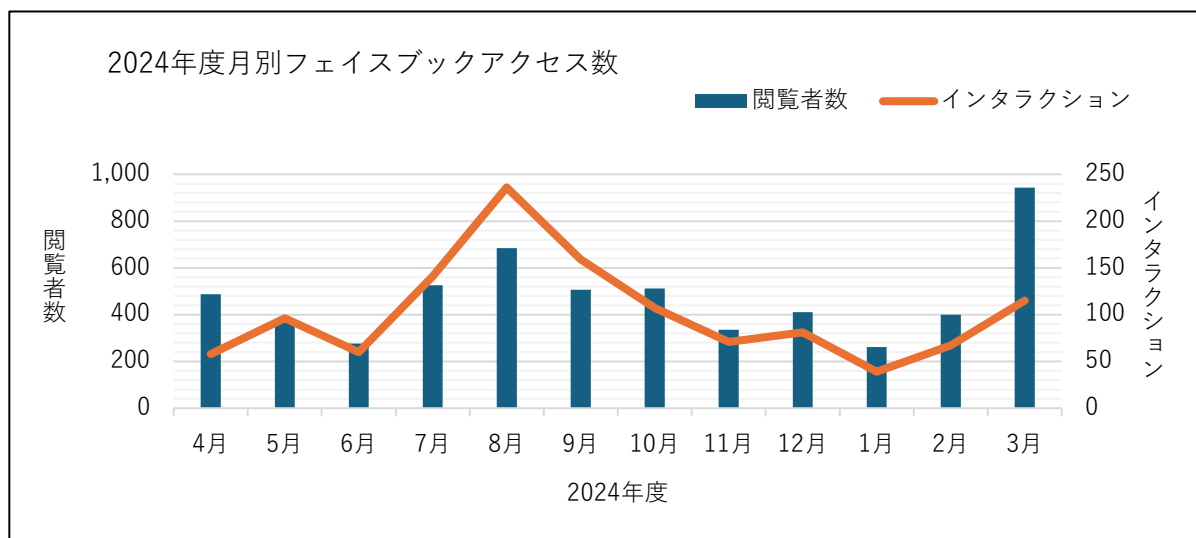
10月は元気村まつりにより閲覧者数 3,918 人、閲覧ページ数 12,907 ページに増加している。



	月平均
閲覧者数	2,726 人
閲覧ページ数	6,867 ページ
1人当たり閲覧ページ数	2.5 ページ

② フェイスブックの運用

あすぴあのフェイスブックで市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、元気村まつり、人財の森などの事業やあすぴあ交流スペースの状況などの記事を投稿した。



※インタラクション： いいね！、コメント、シェア、クリックの行動回数

	月平均
閲覧者数	476 人
インタラクション	103 回

③ メールマガジン発行

メールマガジンは毎月末に発行し、メルマガ あすぴあ No.118～No.129 を配信した。配信先はあすぴあ利用登録団体のほか市民活動パワーアップ講座やあすぴあで開催したイベントなどに関わった個人である。メールマガジンの内容はあすぴあのイベント情報、市民活動団体に関係する助成金情報などを掲載している。あすぴあ利用者アンケートでは6割の団体が役に立っていると評価している。

④ LINE

あすぴあで開催するイベントをあすぴあ公式 LINE で配信した。

LINE の友達登録は右図のQRコード読み取りで実施した。

2024 年度の累積値は次のとおりである。

友達登録数	100人
配信回数	81通



(3) 市民活動団体データの収集と発信

① 市民活動ガイドブック「むすぶ」冊子の発行

市民に対して市民活動団体の情報を発信する市民活動ガイドブック「むすぶ」の冊子の2025年版を発行した。発行部数1,000部で市内の公共施設などへ配布した。「むすぶ」には150団体の情報（団体名、活動の一行紹介、連絡先）を掲載し、市民が活動団体を調べる手がかりを提供している。



② あすぴあホームページの市民活動団体一覧

市民活動ガイドブック「むすぶ」冊子の情報の詳細は、あすぴあのホームページにある市民活動団体一覧で検索できる。活動分野別の団体数は「保険・医療・福祉増進」、「学術・文化・芸術・スポーツ」、「子どもの健全育成」の3領域が全体の68%を占める。



市民活動団体一覧
(あすぴあホームページ)

③ こだいら市民活動ナビの試行

こだいら市民活動ナビのサイトを試行している。このサイトは市民活動団体が情報をオンラインで入力して、市民が様々な団体の活動を知り、誰でも活動に参加しやすい環境をつくり、市民活動の活性化を図ることを目的とする。

今後、団体の登録追加とデータ入力の講習会を重ねて、サイトを運用していく予定である。

こだいら市民活動ナビのサイト（試行中） <https://kodaira-navi.net/>



こだいら市民活動ナビのサイト



データ入力講習会

4. 市民活動に関する相談

市民活動に関する問合せや相談が 15 件あった。主な内容は以下の通りである。

- ・不登校児や独居高齢者の居場所づくりについて、助成金の申請、大学生の巻き込み、ボランティア確保などの相談に対応した。
- ・中学生を対象として一般教養の勉強会を行う団体を作りたいが、場所の確保が難しいので、市内の公共施設の団体登録について説明した。
- ・子どもを亡くした親の会、がんの家族会について団体を調べて紹介した。
- ・専門家による講演会を元気村まつりで団体が企画することについて相談があった。しかし、元気村まつりの開催日と団体の都合が合わず実現できなかった。
- ・NPO 法人設立について、助産師 3 人が産後の母親を対象にしたケア活動を検討。法人の事業にかかる情報収集を広げるために子ども家庭支援センターへつないだ。また、法人設立後に備えて、あすぴあ利用登録を勧めた。
- ・NPO 法人設立後の事業継続と拠点確保にかかる相談。法人設立 1 年後、3 年後、5 年後の「ありたい姿」を中核となる人たちで描きながら、事業計画、収支計画、組織計画を話し合うのが効果的と助言した。その後、あすぴあ利用登録団体へ新規登録した。
- ・就労支援にかかるもので、障害に理解があり、就労につながる団体を探している。あすぴあの登録団体を紹介して再度相談に乗る旨を伝えた。
- ・多文化共生を市民へ啓発する講演会を催すため、助成金にかかる相談があり、助成プログラムの紹介、申請時期、申請の要点などを助言した。
- ・社協から引きこもり事案に協力できる団体の照会があった。
- ・癌遺族のサロン活動を起こすのに必要な取り組みについての相談に対応した。
- ・NPO 法人でソーシャルビジネスを起業する際の法人手続き、資金調達、ビジネスモデルについて説明した。
- ・開業準備中のボードゲーム店が地域の居場所になるようなヒントを探しに来た相談に対応した。
- ・原爆の語り部活動を小平市内で実施したい相談があり、団体を検索して情報を渡した。
- ・既存の任意団体を NPO 法人化したい趣旨の相談があり、先ず法人化したい理由を団体でしっかり協議することが大切で、その後から手続きを行うように説明した。

5. 利用者の要望・意見の把握

(1) 運営サポート会議

運営サポート会議は、あすぴあの管理・運営に幅広く意見を徴し、公平を保つための会議として、その意見を運営の参考とする。あすぴあの事業実施報告をもとに委員が第三者の立場から評議している。会議の委員は、あすぴあ利用登録団体、公募市民、有識者、地域住民、小平市社会福祉協議会こだいらボランティアセンター、小平市市民協働・男女参画推進課から 11 人で構成した。指定管理者から理事長、副理事長、事務局、センター長の 4 人が出席した。

2024 年度は下表の 3 回開催した。

	開催日時	内容
第 1 回	2024 年 8 月 28 日 (木) 14:00～16:00	2023 年度あすぴあ事業報告 2024 年度あすぴあ事業、体制、予算
第 2 回	2024 年 11 月 14 日 (木) 14:00～16:00	あすぴあ事業の上半期実施と予定 講座、交流サロンの実施報告 あすぴあ通信発行 元気村まつり 2024 の開催報告 こだいら人財の森事業の進捗状況報告
第 3 回	2025 年 3 月 13 日 (木) 14:00～15:45	2024 年度あすぴあ事業の実施概要 こだいら市民活動ナビの進捗と予定 こだいら人財の森事業の実績 あすぴあ利用者アンケート調査結果

(2) 利用者懇談会

利用者懇談会は年度末の 2025 年 3 月 15 日(土)に開催した。事前にあすぴあ利用者アンケートを実施して、施設利用、情報利用、相談利用などの評価を調べた。その結果を共有して利用者懇談会を開催し、市民活動の情報や施設の利用について意見交換を行った。



(3) 利用者アンケート

あすぴあ利用者のアンケート調査を下記により実施した。

アンケートの調査結果は資料 2 参照。

実施期間	2025 年 1 月 15 日(火)～31 日(金) 17 日間
実施方法	あすぴあ利用登録団体へ調査協力依頼をメール配信して Google フォーム入力
調査項目	1. 団体の基本属性 2. 利用登録制度の評価について 3. 会議室・印刷室の利用評価について 4. あすぴあ通信の評価について 5. あすぴあメルマガの評価について 6. 相談窓口の利用評価について 7. 職員対応の評価について

6. 研修の実施、受け入れ

(1) 職員研修の実施

- ・2024年5月22日(水)、こだいらボランティアセンターと相互に職員研修を実施した。あすぴあ職員はボランティアコーディネートを学び、相談支援や人財の森の専門員に必要なスキルを理解した。こだいらボランティアセンター職員は人財の森事業を学び、事業が目指すことを理解した。
- ・2025年2月19日(水)、こだいらボランティアセンターとあすぴあの合同勉強会を実施した。若者とボランティア活動を切り口に意見交換を行い、付箋紙に意見を書き出して模造紙に貼り仕分けをしながら議論を広げた。



(2) こだいらNPOセミナーへの参加

こだいらNPOセミナーによる学生の市民活動体験の受け入れについて、2024年6月16日(日)に武蔵野美術大学で開催された「大学生と市民活動の出会いの場」にあすぴあが参加した。あすぴあの活動を紹介した後、イベント部会、広報部会、フェスタ部会で体験できる内容を提示した。学生と個々の相談に対応し、イベント部会で1名の学生を受け入れ、8月に市民活動交流サロンに参加して運営を体験した。



大学生と市民活動の出会いの場



イベント部会の学生体験

(3) シルバー大学受講者の見学対応

シルバー大学第54期のあすぴあ施設見学が2024年7月3日(水)にあり、見学者31人に対して、あすぴあの施設および人財の森事業、元気村まつり、あすぴあ通信などの市民活動支援について説明した。

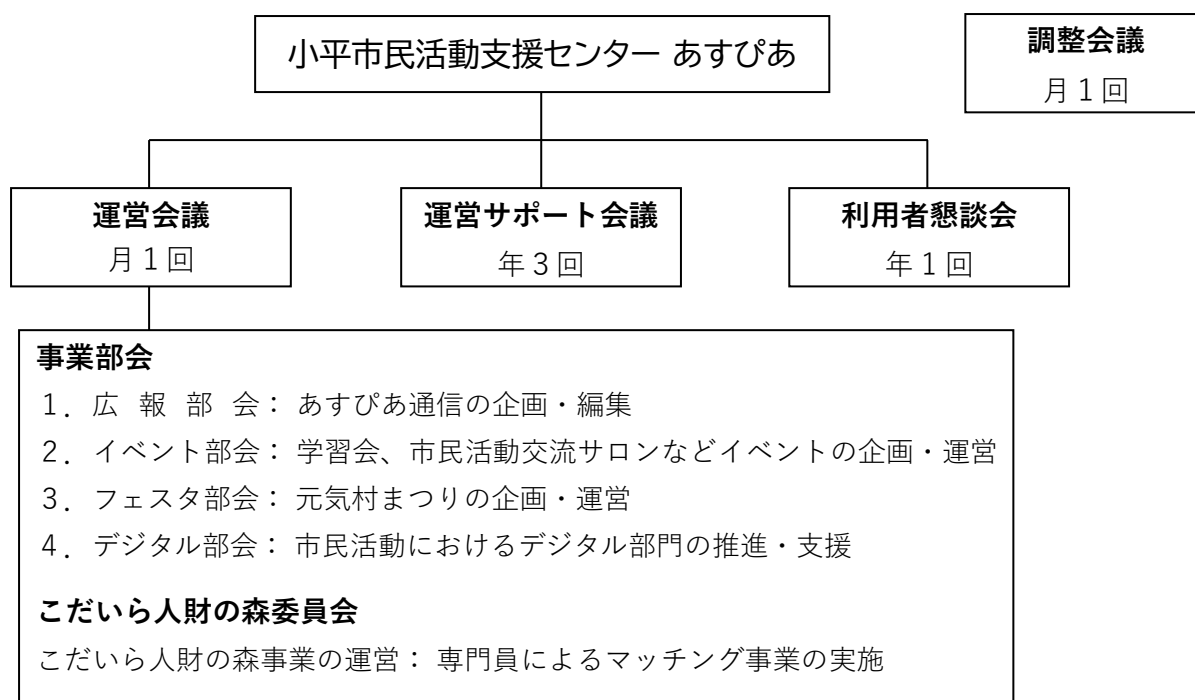


(4) 東京ボランティア・市民活動センター研修の対応

東京ボランティア・市民活動センター新任研修の受け入れについて、同センターが都内の社会福祉協議会向けに実施する新任研修において、あすぴあの現場研修に対応した。研修生は3人で、2024年8月3日(土)の午前にあすぴあで実施している市民活動支援の説明を行い、午後にイベント部会の市民活動交流サロンを体験した。



7. 事業の実施体制



■あすぴあ職員

センター長ほか日勤職員4人、夜勤職員2人が業務を分担した。

日勤職員は各部会やこだいら人財の森事業の事務を担当したほか、あすぴあホームページやフェイスブックの運用、会議室や印刷室の利用対応、相談対応などの業務に従事した。

また、夜勤職員は夜間の会議室や印刷室などの利用対応、閉館業務に従事した。

■運営会議

運営会議は毎月1回の開催で事業部会の各部会長、センター長、指定管理者理事が出席して、各部会や委員会からの報告を審議し、あすぴあの事業運営に関して進捗状況や今後の方向性等について協議している。

■運営サポート会議

14 ページ参照

■利用者懇談会

14 ページ参照

■調整会議

調整会議は小平市と指定管理者との定期的協議の場として毎月1回開催した。

小平市の市民協働・男女参画推進課、指定管理者理事長と副理事長、事務担当理事、センター長が出席して、あすぴあ事業の進捗状況にかかる報告、意見交換を行い、事業の適切な実施や課題などについて協議した。

■事業部会

事業部会は公募による市民参加で部会員を構成して事業を推進している。部会の開催時期や頻度等は各部会で定めている。また、各部会には指定管理者の理事が付いて予算や進行の管理を行っている。

事業部会	活動内容	部員数
イベント部会	・ 市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロンを企画・運営する。 ・ 2024 年度は講座 4 回、交流サロン 4 回を実施した。 ・ 市民活動団体へのアンケートなどで課題の把握に努め、企画づくりに反映させている。	8 人
広報部会	・ あすぴあ通信の企画・取材・編集を担う。 ・ 2024 年度はあすぴあ通信を 4 回発行した。 ・ あすぴあのイベント情報などを広報している。 ・ 市民活動団体の様々な活動を紹介している。	8 人
フェスタ部会	・ 元気村まつりの全体方針を定め、元気村まつり実行委員会を設置して具体的な企画・運営を実施した。 ・ 2024 年度は 10 月 27 日～11 月 3 日を元気村まつりウィークとして、オンラインで開催した。	8 人
デジタル部会	・ 市民活動のデジタル化の普及啓発と推進に取り組む。 ・ 部会内に 3 つのチームを設置した。 ・ 団体紹介サイトチームはこだいら市内活動ナビのサイトを試行した。 ・ データ活用チームは Google ワークスペースで情報共有を導入した。 ・ デジタル推進チームは市民向けのデジタル学習体験会を開催した。	17 人

■こだいら人財の森委員会

こだいら人財の森事業は市民協働・男女参画推進課と指定管理者理事による委員会を設置している。専門員を配置して市民活動の個人登録者と登録団体とのマッチングを進めている。

2024 年度は市民と登録者の交流会や落合恵子さんの講演会を開催した。

また、市内のイベントなどで人財の森事業をブース展示して普及に努めている。

8. 経費の収支状況

単位：円

	2024 年度実績	摘要
収入合計	22,202,615	
1 指定管理料	22,107,000	
2 雑収入	95,615	印刷機・コピー機等使用料
経費合計	20,151,119	
1 人件費	12,829,267	常駐スタッフ昼間 2 名、夜間 1 名、センター長の給与等
2 事務費	9,391	文房具、用紙等
3 管理費	4,810,198	印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、消耗什器備品費、コピー機・パソコン等賃借料、保険料、諸謝金、雑費、支払手数料、一般管理費、消費税等
4 事業費	2,502,263	市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、元気村まつり、あすぴあ通信、むすぶ、こだいら人財の森等

資料 1.

あすぴあ登録団体一覧

2025 年 3 月 31 日現在

No	団体名 (50 音順)	法人
1	IT サポートサークル小平	
2	藍なり	
3	ACT 小平らいふえいど	NPO 法人
4	アトリエ・パンセ	NPO 法人
5	アロマサロン	
6	安心・安全ウォークネット 壘	
7	アンファン・ボンヌ	NPO 法人
8	いきいき 9 3	
9	E ㇑	
10	imacoco	
11	インドな人口問題を考える会	
12	ウォーキング de ゴミひろい協会	
13	うたごえ in 元気村	
14	右脳いきいきクラブ	
15	LPG	
16	小川シン・公共施設 & プロジェクト	
17	小川体操	
18	おだまき	社会福祉法人つむぎ
19	音の会	
20	親子でグッドコミュニケーション ラ・ピース	
21	ガールスカウト東京都第 1 7 6 団	
22	合唱団「みらい」	
23	上宿盆踊り部	
24	カモミール	NPO 法人
25	Cancer おしゃべり Café (がんサロン)	
26	ギターサークル アン	
27	グリーフサポートこだいら	
28	ぐろーばる喫茶 KODAIRA	
29	K・K・メンネルコール	
30	健康ピアノの会	
31	憲法カフェ@なかまちテラス	
32	高齢者社交ダンス虹の会 社交ダンス普及会	
33	コーダー道場こだいら	
34	国立精神・神経医療研究センター病院家族会「むさしの会」	
35	苔玉会	
36	ここ・ちあーず	
37	子育てサポートきらら	NPO 法人
38	小平 IT 推進市民グループ	
39	小平 ACT あったか小平	
40	小平囲碁サークル連合会	
41	小平井戸の会	NPO 法人

42	小平・環境の会	
43	小平こども劇場	NPO 法人
44	小平市ゲートボール連盟	
45	小平市けやきの会	
46	小平市自治基本条例市民の集い	
47	小平市重症心身障害児（者）を守る会	
48	小平市障害者団体連絡会	
49	小平市女性のつどい	
50	小平市シルバー人材センター	公益社団法人
51	小平市身体障害者協会	
52	小平市テニス協会	
53	小平シニアネットクラブ	NPO 法人
54	小平市にピンピンコロリ (PPK)を増やす会	
55	小平市脳卒中患者友の会（ピアズ小平）	
56	小平市の多文化共生をすすめる会	
57	小平市パーキンソン病友の会	
58	小平市民活動ネットワーク	NPO 法人
59	小平市民まちづくり互助会	
60	小平シャイニング	
61	こだいら自由遊びの会	NPO 法人
62	小平少年少女青空学校	
63	こだいらスポーツ&カルチャーコミッション	
64	こだいらソーラー	NPO 法人
65	小平ターゲット・バードゴルフ協会	
66	こだいらDV防止ネットワーク	
67	小平図書館友の会	
68	小平はぐくみプロジェクト	
69	小平東圏域オレンジの会	
70	こだいら平和コンサート・合唱団どれみ	
71	小平ユネスコ協会	
72	小平ユネスコ協会水曜	
73	小平要約筆記サークル「ほおずき」	
74	小平6小ウィングス	
75	小平・ワーカーズまちの縁がわ ちっちゃいおうち	
76	こだキッズタウン	
77	こだフォト部	
78	子ども未来研究所 こあっぱあーと☆	NPO 法人
79	こども未来ラボ	NPO 法人
80	こみゅと小平	一般社団法人
81	コミュニティーケアリンク東京	認定 NPO 法人
82	サークル「シニアのための脳トレピアノ」	
83	The Kodaira Jazz Association（小平ジャズ協会）	
84	さよなら原発 オール小平をめざす会	
85	3.11 等に学ぶ小平の減災を考える会	

86	視覚障害者パソコン教室	
87	市民プラザこだいら	
88	熟年いきいき会	
89	鈴の会	
90	スマホ・パソコンお助け隊	
91	政治・知りたい、確かめ隊	
92	精神保健福祉ボランティアの会 ひだまり	
93	相続後見シニアサポート 多摩	一般社団法人
94	匠リニューアル技術支援協会	NPO 法人
95	たまの音楽家	
96	だれもがともに小平ネットワーク	認定 NPO 法人
97	ダンスパフォーマンス集団 迫-HAKU-	
98	地域生活支援センター あさやけ	社会福祉法人
99	中央大学小平白門会	
100	デジタルスキルUPサロン	
101	点字の会 てんとう虫	
102	東京ファシリテーションクラブ小平	
103	にじいろパズル	
104	虹の会	
105	日本太極柔力球小平支部	
106	萩山・小川団地 九条の会	
107	パソコン徒然草の会	
108	PTPL 小平支局	NPO 法人
109	ひだまりの会	一般社団法人
110	びちち	
111	ヒッポファミリークラブ萩山	
112	ひびき	
113	ひまわりのおうち（小平学・まちづくり研究所）	
114	不登校・ひきこもりを考える会@小川西	
115	ぶるーべリー愛犬ふぁみりー協会	NPO 法人
116	ふれあいアカデミー	NPO 法人
117	平和と未来のひろば・小平実行委員会	
118	ボーイスカウト小平第1団	
119	ボーイスカウト小平第2団	
120	マジックむさし会	
121	学び舎江戸東京ユネスコクラブ	
122	マルイス	NPO 法人
123	みんなでつくる音楽祭 in 小平 実行委員会	
124	昔あそび応援団	
125	やすらぎコンサート Sana（さ～な）	
126	Learning Crisis 研究会 学びの危機プロジェクト（まなキキ）	
127	ラスキア	NPO 法人
128	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 小平 JAM きっず事業所 みんなのおうち準備会	NPO 法人

資料 2.

あすぴあ利用者アンケート調査結果

1. 調査概要

(1) 調査目的

小平市民活動支援センターあすぴあの業務および事業の PDCA マネジメントサイクルに反映するため、利用登録団体を対象に施設やサービスの利用評価をアンケートにより収集する。

(2) 実施

アンケートは下表に示す内容で実施した。

表 1 実施概要

調査対象	あすぴあ利用登録団体 128 団体 2024 年 12 月末現在
調査時期	2025 年 1 月 15 日(火)～31 日(金)
調査方法	利用登録団体へ調査協力依頼をメール一斉配信 団体による Google フォーム入力 締め切り前の備忘案内メール 1 回あり
調査項目	1. 団体の基本属性 2. 利用登録制度の評価について 3. 会議室・印刷室の利用評価について 4. あすぴあ通信の評価について 5. あすぴあメルマガの評価について 6. 相談窓口の利用評価について 7. 職員対応の評価について
回収	18 団体（回収率 14%）

2024 年 7 月末に元気村施設内の空調設備が故障し、あすぴあ会議室や交流スペースを快適に利用できる環境になく、会議室などの利用件数は減少した。団体がセンターから足が遠のいたことが、2024 年度の回収数に影響を及ぼしたと考えられる。

2. 調査結果

(1) 団体の属性

回答を得た利用登録 18 団体の発足年代、主な活動場所、普段の活動人数については以下の結果となる。団体の 9 割近くが 2000 年以降に発足しており、1998 年の NPO 法(特定非営利活動促進法)の施行を契機に法人や任意を問わず市民活動団体が全国的に増えた傾向と重なる(図 1)。

主な活動場所(複数回答)を見ると、市の公共施設が最も多く、次いであすぴあ会議室となり、その他を含め、活動団体は身近なところで利用できる施設を選んでいると伺える(図 2、表 2)。活動人数は 1~5 人と 6~10 人が多く、10 人以下の規模で活動する団体が 7 割を超える(図 3)。

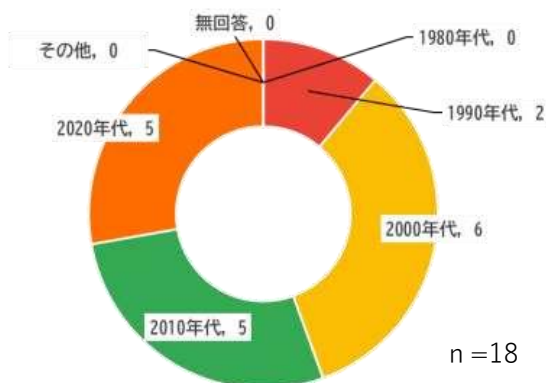


図 1 団体の発足年代

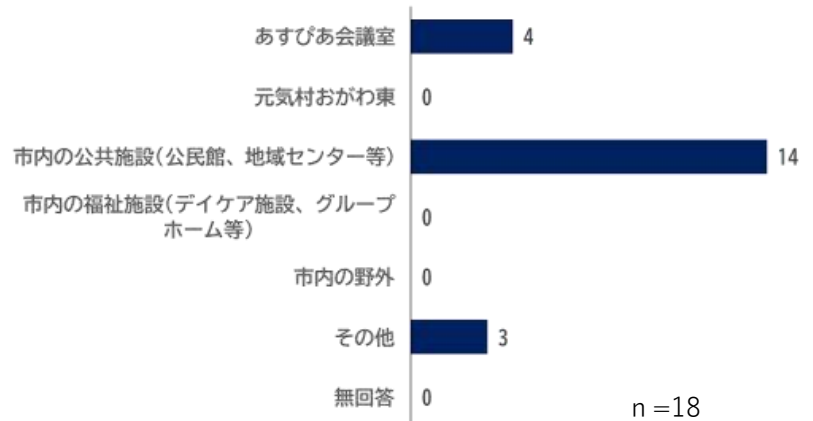


図 2 団体の主な活動場所



図 3 団体活動にかかわる人数

表 2 その他の活動場所

- ・ ケアタウン小平
- ・ 法人事務所、国分寺市内公共施設
- ・ 地域交流コミュニティテラス「ビレッジグリーン」

(2) あすぴあの利用登録の評価

団体がセンターの施設やサービスを利用するには団体登録する必要がある。そのことについて、登録の理由、登録したことの評価を尋ねた。

① 利用登録の理由

利用登録する理由は、複数回答で「以前から登録している」9 団体、「さまざまな市民活動情報を知りたいので」8 団体、「会議室を使いたい」5 団体と続く。

登録理由の市民活動情報を知りたいに加えて、あすぴあ通信とメルマガの利用も理由に挙がる。そのことから、情報の取得が利用登録する主な理由になっている団体があると解釈できる。

「会議室を使いたい」のほか、「Wi-Fi が使える」「会議室を予約しやすい」「保管庫が使える」など施設利用に関連する理由も挙げられている。会議室をよく利用している団体は ICT 関連の団体が多く、それらの団体にとってあすぴあ会議室はネット環境が整っている利便性の高い場所となり、そのことが利用登録する理由になっていると言える。

また、「会議室を予約しやすい」理由では、あすぴあ会議室を利用する団体を実績ベースで見ると月に10団体前後で固定されており、競争率は高くない。よく利用する常連団体にとってあすぴあ会議室は公民館に比べて比較的予約が取りやすい状況が、「会議室を予約しやすい」理由になっていると推察できる。「以前から登録している」は受動的な理由とも言えるが上で挙げた複数の理由により登録を止める積極的な事由がない裏返しとも解釈できる。

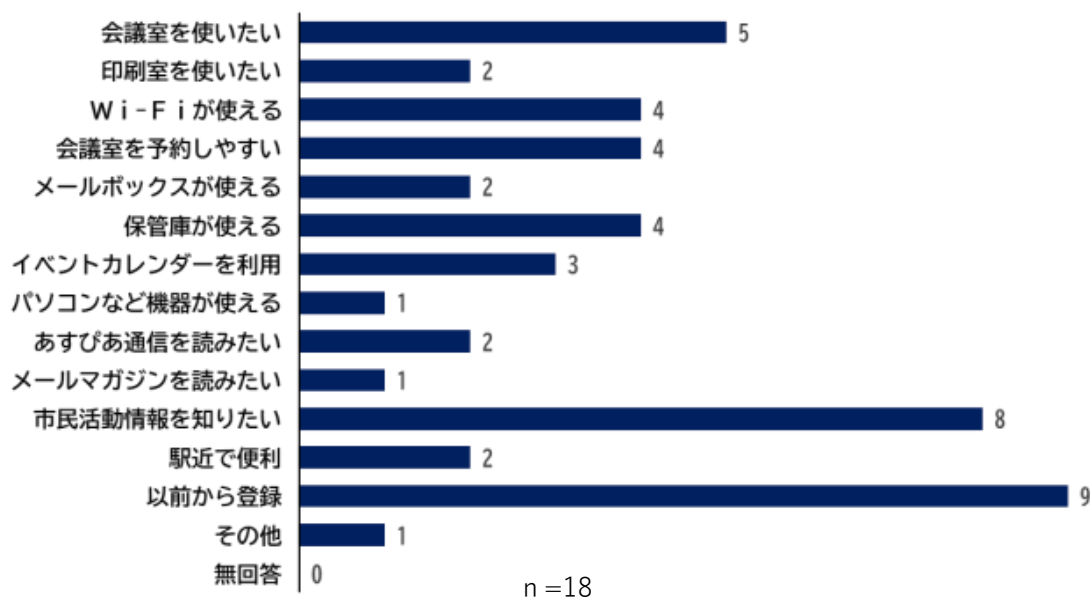


図4 利用登録する理由

② 利用登録の評価

利用登録したことの評価を見ると、「活動に役立っている」と「やや役立っている」を合わせて8割近くになる。その評価の理由を見ると、情報が取得できることや施設利用の便益などが肯定的な評価の主な理由になっている。

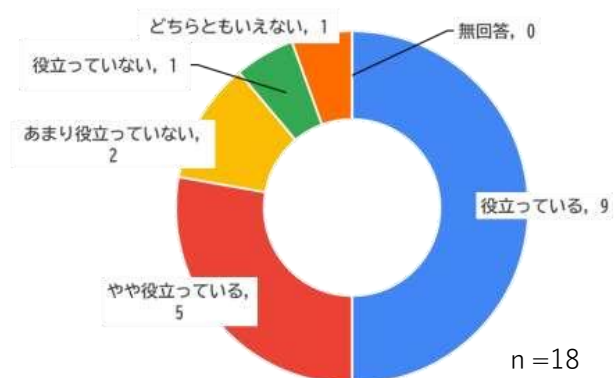


図5 利用登録の評価

表3 利用登録の評価理由

評価	理由
役に立っている やや役に立っている	・ いろんな情報をいただけるので。 ・ 保管庫が使えるので荷物を毎回運ばなくて済む。 ・ サークル活動を広く周知できる。 ・ 会議室が利用しやすく、資材保管ができる。 ・ 市内全体の情報を得られる。NPO 法人の法改正などの情報を得られる。 ・ 会議室を定期利用できるとともに、元気村まつりの参加など、地域の方との交流もできる。 ・ 右も左もわからず、頼る人もいないので、そういう存在があることが心の支えにもなっている。 ・ チラシの印刷と用紙の保管ができること。 ・ ネットワークの構築。 ・ 助成金の情報などがわかる。活動のヒントを教えてもらっている。
役に立っていない あまり役に立っていない	・ 元気村まつり以外での接点がない。 ・ 利用する機会が少ないから。
どちらともいえない	・ あすぴあ情報誌の提供。

(3) 会議室および印刷室の利用

① 利用状況

会議室や印刷室の4月から12月までの利用状況を見ると「利用していない」が9団体である。利用している団体では「月1回ほど」4団体、「月2回ほど」2団体、「その間に2～3回ほど」2団体となる。会議室や印刷室を利用していない団体には、利用登録の理由に「さまざまな市民活動情報を知りたい」を挙げる団体が多く含まれており、施設の利用よりも情報取得を主としていることが、利用状況に表れていると言える(表4)。

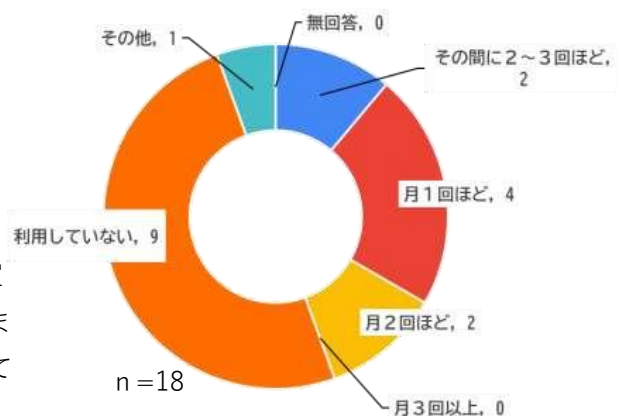


図6 会議室や印刷室の利用

一方、会議室や印刷室を利用した団体は利用登録の理由に「会議室を使いたい」「印刷室を使いたい」「Wi-Fiが使える」「会議室を予約しやすい」を挙げる団体が多く含まれている。利用登録の理由がそのまま会議室や印刷室の利用へ直結していると言える(表5)。

表4 会議室等の利用と登録理由(情報関連)

	さまざまな市民活動情報を知りたいので(8団体)
会議室や印刷室を利用していない(9団体)	5

表5 会議室等の利用と登録理由(施設関連)

	会議室を使いたいので(5団体)	印刷室を使いたいので(2団体)	Wi-Fiが使える(4団体)	会議室を予約しやすいので(4団体)
会議室や印刷室を利用している(8団体)	5	2	4	4

② 会議室の利用評価

会議室利用の満足状況を見ると、「満足」と「やや満足」を合わせて5団体が満足としている。その理由を見ると、Wi-Fi環境や使い勝手の良さが挙げられる。

表6 会議室の利用評価の理由

- ・Wi-Fiやプロジェクターが利用できる。
- ・Wi-Fiが使える。予約しやすい。
- ・使い勝手はとてもよいです。(やや)になった問題点は、ゴミが持ち帰りの点です。他地域から小平のために活動しにきている者としては、有料でかまわないので、ゴミを現地に置いて帰れると助かります。現状では、大きなゴミ袋を電車で1時間以上持ち帰っています。ご検討いただくと嬉しいです。

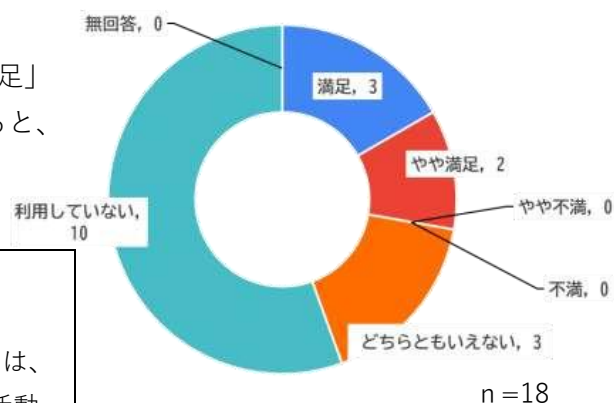


図7 会議室の利用満足

③ 印刷室の利用評価

印刷利用の満足状況を見ると、「満足」と「やや満足」を合わせて3団体が満足としている。その理由を見ると、二色刷り、折り機、低価格が挙げられる。

表7 印刷室の利用評価の理由

- ・2色刷りができる。折り機がある。
- ・2色刷りの印刷を安い金額でできる

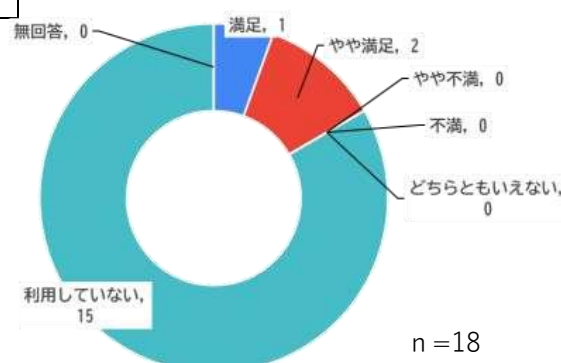


図8 印刷室の利用満足

(4) あすぴあ通信の利用

① 利用状況

あすぴあ通信(A4判4頁)は、今年度6月末、9月末、12月末の3回発行し、利用登録団体へ送付している。それを「3回とも読んでいる」が11団体で6割となる。その団体における利用登録の理由を見ると、「あすぴあ通信を読みたいので」や「さまざまな市民活動情報を知りたいので」を挙げている団体となり、それらの理由があすぴあ通信の利用状況に反映されていると言える(表8)。

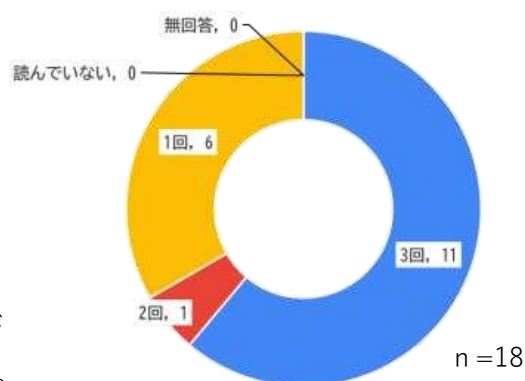


図9 あすぴあ通信の利用

表8 あすぴあ通信の利用と登録理由

	あすぴあ通信を読みたいので (2 団体)	さまざまな市民活動情報を 知りたいので(8 団体)
毎回読んでいる(11 団体)	2	7

② あすぴあ通信の評価

あすぴあ通信の情報が役立っているかの評価を見ると、「役立っている」3団体、「やや役立っている」9団体で、6割を超える団体が肯定的に評価している。評価の理由を見ると、肯定的に評価する団体では、あすぴあ通信の情報価値を認めているのが判る。否定的に評価する団体は、情報の新鮮さと、会員が読めていない団体内の問題が理由となっている。

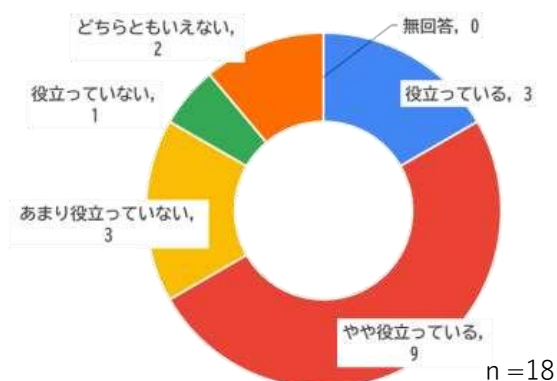


図10 あすぴあ通信の評価

表9 あすぴあ通信の評価理由

評価	理由
役に立っている やや役に立っている	・地域の活動団体のことを知ることができる。 ・他グループの状況を知ること。 ・あすぴあのイベント情報や他団体の活動が参考になる。 ・他団体の活動がわかる。 ・普段関わることのない他の団体の様子などを知ることができるから。利用していない事でも「こんなことをしている」ということを知ることができる。 ・団体の情報。 ・活動団体の情報が入手できる。
役に立っていない あまり役に立っていない	・新しい情報ではないから。 ・会員が読める環境になっていない。
どちらともいえない	・即役立つ情報は特にない。他団体を知るには楽しいが。 ・なかなか、ゆっくりと読む余裕がないので、しっかりと読めていない。

（５）あすぴあメルマガの利用

① 利用状況

毎月末に利用登録団体宛にあすぴあメルマガを配信している。それを「毎回読んでいます」11 団体、「たまに読む」7 団体となる。



図 11 あすぴあメルマガの利用

② あすぴあメルマガの評価

メルマガ情報が役立っているかの評価を見ると、「役立っている」5 団体、「やや役立っている」6 団体で、6 割の団体が肯定的に評価している。評価の理由を見ると肯定的に評価する団体では、あすぴあメルマガで必要な情報を得られていることが主な理由となる。否定的に評価する団体は、情報価値が低いのが理由となっている。

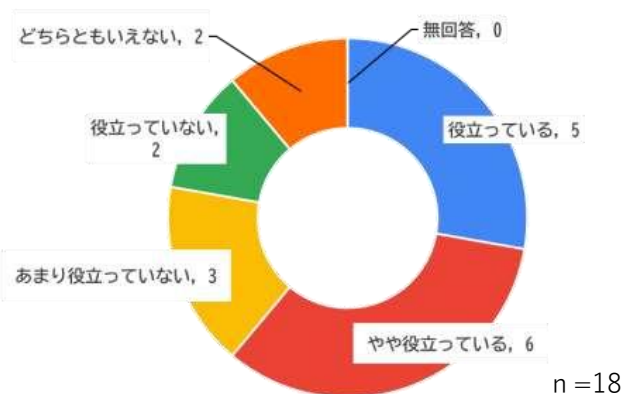


図 12 あすぴあメルマガの評価

表 10 あすぴあメルマガの評価理由

評価	理由
役に立っている やや役に立っている	・ その情報が有効であったことは少ないが、情報を知る機会として役立つ。 ・ あすぴあの情報を団体会員へ知らせている。 ・ イベント申し込み漏れがなくなる。 ・ 他団体の活動や、あすぴあの活動予定などについて知ることができる。 ・ 普段インターネットで情報収集することが多いので、メールなど電子媒体で情報提供いただけるのは助かる。 ・ 必要な情報が得られる。 ・ 情報収集が出来る。
役に立っていない あまり役に立っていない	・ サークル活動にあまり関連のない情報が多い。 ・ 会員が読める環境になっていない。
どちらともいえない	・ 即役立つ情報はあまりない。 ・ 時間と気持ちに余裕のある時しか読んでいない。

（６）あすぴあの相談窓口の利用

① 利用状況

4月から12月の間における相談窓口の利用状況を複数回答で見ると、「利用していない」14団体で、利用している場合は「施設利用や情報などの問合せで利用」3団体、「資金調達などの相談利用」1団体となる。

相談業務は、市民活動支援事業の土台となる業務である。その相談利用が少ないのは、そもそも相談需要が少ないのか、センターの相談業務が団体へ知られていないのか、見ていく必要がある。

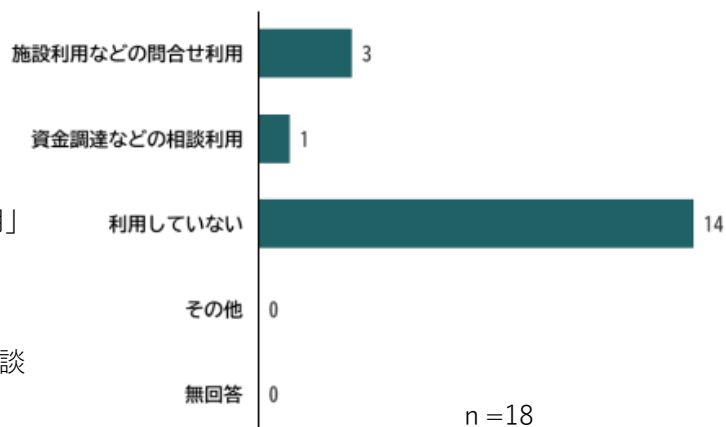


図 13 相談窓口の利用

② 相談窓口の利用評価

相談窓口の利用評価を見ると、窓口利用した団体すべてが「満足」であり好評である。その理由は、親切、丁寧な対応で必要な情報が得られたことによる。

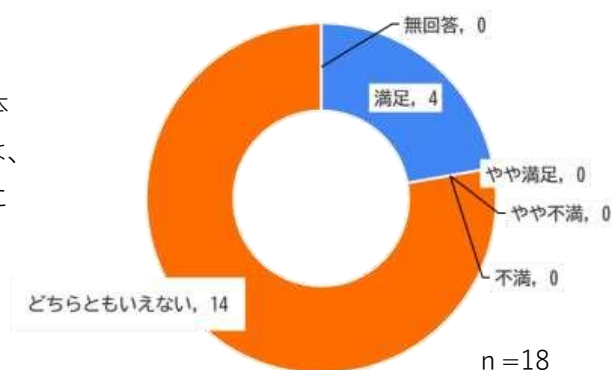


図 14 相談窓口の評価

（７）あすぴあ職員の窓口や電話での対応評価

あすぴあでは9時から17時までの間、日勤職員が会議室の問合せや利用申込、主催イベントの問合せなどに窓口や電話で対応している。その対応の評価を見ると、「満足」11団体、「やや満足」4団体となり好評である。

その理由を見ると、丁寧に親切な対応の一言に尽きる。それは窓口や電話対応の基本となるが、窓口や電話を利用する人は、団体もあれば個人もある。窓口や電話の内容は、会議室利用やイベント申込など目的が明らかな事案、どこへ照会すれば判らない曖昧な状態でとりあえずあすぴあへ連絡した事案などがある。先の相談業務も含めて、そうした事案に対して職員が適切に応じられる能力や知識を持つことが、満足評価を維持もしくは高める上で大切である。

表 11 職員対応の評価理由

評価	理由
役に立っている やや役に立っている	・ 窓口や電話で丁寧に対応していただいている。 ・ 的確に対応いただいている。 ・ 必要な機材などをすぐに用意してもらえる。 ・ いつも丁寧にご対応ありがとうございます。 ・ いつも親切に対応いただき助かっております。 ・ いつも丁寧に対応してもらっているから。 ・ メール対応が丁寧で迅速。 ・ 対応が良い。
どちらともいえない	・ 顔が見えない。

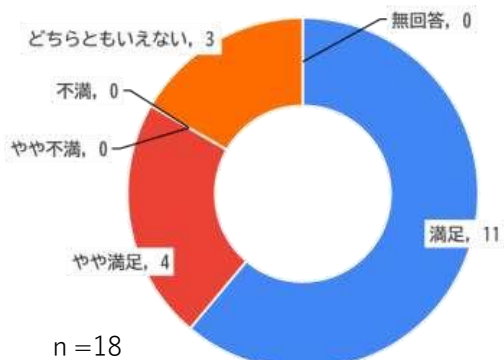


図 15 窓口や電話の対応評価



小平市民活動支援センターあすぴあ